



たすけあいセンター

JUNTOS! 通信

JUNTOSは
ポルトガル語で
“いっしょに”
日本語版

2016.4.10 発行 No.21



みんなで共に助け合おう！ 地域復興のための拠点「JUNTOS」

生活再建や地域復興に向けて、困りごとの相談・
常設型の地域交流スペースを運営中！

～ どの国の人も気持ちは一緒だよ ～



水害発生から7ヶ月が経過しました。生垣や壁についていた水の線が見えにくくなり、修復が済んだ家も増えました。一方で、空き地や空家が増え人口流出が続いています。一部しか家の修復ができない人、更地にした土地に家を再建すべきか迷っている人も多くいます。

時間が経ち「被災」が見えにくくなる中で、生活再建できる人とできない人の差、気持ちの温度差が広がっています。家は修復できたけどまた水害にあわないか不安、長雨が怖い、なれないところに避難していて不便、人と話す機会や楽しいことが減った、などなど、本当に安心できる地域、人が戻ってこられる地域にするためには、まだまだすべきことが沢山あります。

私たちは水海道森下町に新たな二つの拠点を構えました。今年度も暮らしの再建に必要な様々な活動を皆さんと一緒に行っていききたいと思います。復興の主役は市民一人一人です。

困ったこと、したいことがあれば、ぜひ声をお寄せください。そして皆で解決していきましょう。

お花見に行ってきました！

4月3日(日)、常総市からつくば市に避難されている約15名でお花見をしてきました。まずは目的地の松見公園まで1キロほどをのんびり散歩。天気は生憎の曇り空でしたが桜はとても綺麗でした。お昼は水海道のお店で買ったお寿司やお団子、もち寄りのおいしい料理をいただきました。

次回のつくばのサロンは5月7日(土)です。



JUNTOSハウス完成

水海道森下町に新たな拠点「JUNTOSハウス」が完成しました。この民家は水害で被害を受けましたが、家主からお借りし、スタッフやボランティアが協力して少しずつ直してきました。3月12日には水海道第一高校と栃木県の茂木高校の生徒さん、地元の小中学生が協力して外壁のペンキ塗りをしました。今後は地域の子どもの学びの場、若者や多様な人が交わるみんなの居場所として開放していきます。





安心して暮らせるまちを自分たちでつくる取り組み

自主防災マップづくり



再び水害の被害がないことが一番ですが、もし雨量が多くなった場合、どこに避難すればいいか？自分が暮らす地区の低い場所や避難に適した場所などを共有する防災マップを作ったり近所での安否確認など訓練することが大切です。

3月31日には新井木地区の住民の方たちと水海道第一高校・栃木県茂木高校の生徒さん達と一緒に防災マップ作りをしました。地元の方の話を聞き、実際に地区内を歩くことで9月の水害の状況をより深く知ることができました。

空家を減らし、「ともに過ごす家」を増やすプロジェクトがスタート

たすけあいセンターJUNTOSでは、北水海道駅から徒歩3分、さくら病院の近くにある旧「ビジネスホテル」を様々なコミュニティの活動拠点として地域に開放します。

●みんなで、集まれる場を作ろう

この周辺は水害の際は1メートル前後の浸水があり、ほとんどの家が床や壁を張り替える工事を行っています。未だに工事が終わっていない家や、取り壊してさら地になったところもあります。地域の人がお茶のみに集っていたレストランが閉店して空き地になり、集会所も壊されるなど集まれる場所がほとんどありません。そこでまず集会スペースを貸し出しています。

毎週金曜と第2第4火曜には二つの生協の主催でサロンが開かれるようになりました。厨房もあるので、料理教室も時々開かれています。このまちにはブラジルやフィリピンの方も住んでいるので世界の料理が味わえる機会も今後作っていきます。

●野菜づくり、家具づくりを一緒にしませんか

暖かくなりましたので、近くの市民農園を借りて野菜作りをしたり、日曜大工教室を開いて、ベンチとか家具とかを作り、必要な方に届ける活動を始めます。この活動では地域の男性の方々や就労訓練を受けたい若者に活躍してもらいたいと思っています。

●一時的な住まいやお風呂も使えます

元ホテルなので大きめの風呂もあり、20名程度は宿泊できます。自宅の工事などで一時的に家に住めない方、数日泊まりこみでボランティアに来ていただける方に提供します。

●共同で暮らす実験を一緒にしませんか

まちづくりや住まいづくりなどを学んでいる学生や研究者の方も受け入れ、住民の皆さんと一緒に、街の再生に向けた実験をしていきます。その一つが、多様な人が助け合いながら共に暮らす**グループハウスづくり**です。

●グループハウスとは、住んでいたアパートが住めなくなったり、家を壊すことになったけれど前に住んでいたまちで暮らしたい人、高齢で一人暮らしは不安な人などが、長屋のように、同じ屋根の下で暮らす場です。

個室はありますが風呂や食堂は共同で、見守り役も常駐します。若い人にも住んでもらい、それぞれが役割を担うというものです。これが具体化できれば、住み慣れた街で、楽しく安心して暮らせます。そして空家になりそうな民家やアパートを再活用することもできます。



旧ビジネスホテルで実験します。
施設名称(7文字以内)も募集中です

JUNTOSではグループハウスを森下町で実現し、それを市内に広げていけるよう研究会を立ち上げています。共に暮らす家づくりに関心のある方は是非ご連絡ください。



4月に市営住宅の公募がおこなわれます。

通常1月と7月に行われる市営住宅の募集が4月に行われることになりました。今回は昨年の水害のり災証明証があれば、現在常総市に住んでいなくても申込することが可能です。

- 対象者 ○原則常総市内在住、在勤の方、もしくは常総市のり災証明書をお持ちの方で、無職無収入ではない方。
- 原則同居する親族のいる方。
(单身の方も申込可能な住宅もあるため、窓口で相談してください)
- 税金・公共料金を滞納していない方。 などの条件を満たす方。

■申込スケジュール

- ▼4月14日～4月22日の期間で申込受付が行われます。
- ▼応募者多数の場合は入居者選考委員会により入居者を選考します。
結果については5月中旬に応募者に通知されます。
- ▼入居日は7月1日です。

- 申込方法 常総市役所建築課窓口に行ってください。申込用紙をもらえます。
郵送での申込はできません。

■募集している常総市の市営住宅一覧

住宅名	所在地	募集戸数	階数	間取り	設備	参考家賃	備考
千代田団地C棟	中妻町419-3	1戸	4階	3DK	浴槽・風呂釜無し	20,000円～39,300円	
千代田団地D棟	中妻町419-3	1戸	4階	3DK	浴槽・風呂釜無し	21,600円～42,400円	
千代田団地F棟	中妻町391	3戸	1・2・3階	3DK	-	25,600円～50,300円	
八間堀団地A棟	水海道橋本町3637	3戸	1・2階	2DK	-	21,100円～41,600円	
八間堀団地B棟	水海道橋本町3637	4戸	1・2・3階	2DK		21,300円～48,400円	
富士見団地	水海道橋本町3189-1	3戸	1階	3DK	浴槽・風呂釜無し 駐車場なし	13,200円～26,000円	駐車場なし
さくら団地	水海道橋本町3319-1	1戸	3階	3DK	-	25,900円～50,800円	
南石下住宅	大房221-1	2戸	1階	3DK	-	26,300円～51,700円	
岡田住宅3号棟	岡田496-6	1戸	1階	3DK	-	18,200円～35,700円	

- 表の中でエレベーターのある公営住宅は八間堀住宅のみです。
A棟は復旧済、B棟は工事中です。
- 必要書類の準備には時間がかかるものがあるため、希望する方はあらかじめ、募集期間より前に書類の準備をすすめておきましょう。



お知らせ

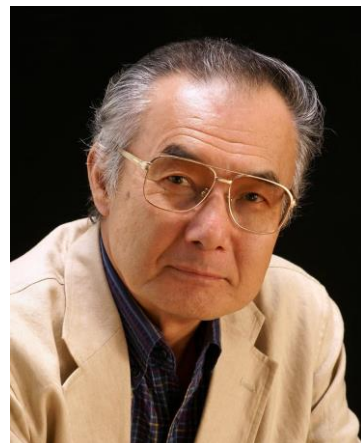
復興寺子屋 「住民一人ひとりの参加による地域の復興」

4月23日(土)10時～12時 会場 市役所議会棟2階

講師 松本誠さん(市民まちづくり研究所所長)

参加費無料

家の修復や水道工事の負担が重い、個人事業の再開が困難、堤防強化だけでは不安、など一人一人の思いを共有して今後の地域づくりに反映させたり、被災経験や教訓を今後の防災減災に生かすことは安心を取り戻す上で大切です。神戸で市民版の復興計画を作るなどして市民の声を行政計画に反映させたり、市民が必要としている事業の具体化を支援してきた松本さんの話を聞きます。安心して住み続けられるまちにするために、私たちが何ができるか考えましょう。



講師の経歴

市民まちづくり研究所所長。関西学院大学、神戸国際大学の各非常勤講師。元、神戸新聞記者、調査研究資料室長。兵庫県震災復興誌編集委員や震災10年市民検証研究会、兵庫県武庫川流域委員会委員長などを歴任。明石まちづくり研究所代表幹事。市民自治あかし代表世話人。集合住宅維持管理機構副理事長。

いっしょに、「助け合い」で地域を再生しましょう！

活動分野	最近の動き	参加募集してます
J (情報)	毎週月曜20時からラジオつくば (FM84.2)でラジオJUNTOSを放送中。常総市で市民が開いているサロンやボランティアの動き、避難している方の声などを取材し放送中。これまでの番組はホームページ (www.juntos-joso.org)で聞けます	・知りたいこと、伝えたいことを取材し番組を作る 市民レポーター講座 を5月6日と13日の夕方開催します。
U (運転)	通学、通院、買い物に行きたいが車がない方や運転できない方、乗り合いタクシーを利用できない方向けにボランティア送迎を継続中(予約制。片道100円の協力金を頂きます) 月1万円で使える車(カーシェア)の普及も継続中 移動支援の予約電話 070-3935-0414 月～土9:00～17:00	・運転免許があれば動ける時間で送迎ボランティアにご参加ください ・複数世帯で車を共有するカーシェアの利用者も募集中
N (直し隊)	軽トラや洗浄機などの機材の貸し出しも継続中。森下町に続き、橋本町の空家の修復活動も行っています。今後は、住宅のカビや白アリの悩みへの対応策を検討していきます	・日曜大工、リフォームの手伝いをしてくださる方募集中
T (届け隊)	電気毛布をお届けした世帯の経験や声をまとめた「 ぬくもりのバトンプロジェクト 」の本を作成中。市外や在宅で不自由な生活が続いている方に、水やお米などを届けながら状況を聞かせていただく訪問活動も継続中。	・物資の仕分けや、自宅に届けるボランティアを募集しています
O (お話しし隊)	つくば市の公営住宅に避難している方向けの茶話会を、毎月1回開催中。4月3日には花見を行いました。常総市内で行われるサロンに部屋、机や椅子、 TENTなどを貸し出し中。今後は、畑や公園など屋外での活動も計画中です。	・JUNTOSの会場を使ってサロン、教室、イベントを開きませんか。畑の作業を手伝ってくださる方、ぜひご連絡ください。
S (共に住み隊)	3月に空家を活用した 福祉長屋(見守りつき共同住宅) を民間で作るための検討会を開催。森下町で共同住宅のモデルを作るべく、住民と福祉や建築の関係者などが集い、検討を重ねています。部屋やお風呂の提供も実験的にスタートします。	・空家、空きアパートを改装して高齢者も安心して暮らせる共同住宅を作ることに関心のある方ご連絡ください。

JUNTOSハウスで子どもの居場所づくりや学習支援に関わって頂ける方も募集中

発行：たすけあいセンター「JUNTOS」

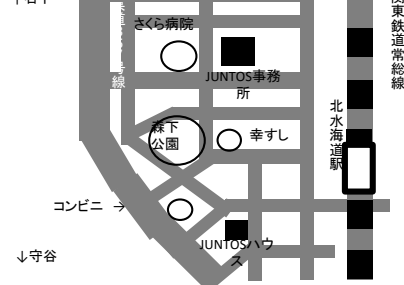
(運営：認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ)

水海道森下町4455-2 北水海道「さくら病院」近くに移転しました

☎：0297-44-4281 FAX：0297-44-4291

時間：午前10時～午後4時半 (水曜は定休日、移動支援は実施)

↑石下



↓守谷